

TOPICS

令和
2年度

施政方針

3月の定例市議会で、安藤正明市長は令和2年度の施政方針を表明しました。こちらのページでは、本年度の弥富市が取り組む施策などをお伝えします。
※掲載している施政方針は、要約してあります。

令和2年度を迎えるに当たり、改めて初心に立ち返り、市民の皆様や現場の声を聞きながら、将来に向けて自らの目で課題の本質を見極め、まちづくりを進めていくよう、誠心誠意取り組んでいく所存であります。

令和2年度は、第2次弥富市総合計画の2年目に当たります。

市民の皆様との協働のもと、これまで以上に住む人、働く人、育てる人、訪れる人など様々な人々に、また、企業に選ばれるまち弥富市となるように取り組むとともに、新たな弥富市の礎を築くため、市民の皆様とともに希望に満ちたまちづくりに全力で取り組んでまいります。

来たる5月7日には、念願でありました市民サービスの拠点となり、かつ、防災拠点となる新庁舎での業務を開始いたします。

令和2年度、そして新庁舎のスタートに当たり、市民の皆様へ寄り添った、また、より質の高いサービスが提供できるように努めてまいります。



施政方針を述べる市長

令和2年度 基本方針

令和2年度の市政運営に当たっては、引き続き3つの重要な視点を持って取り組みます。

- 1 健やかに暮らせる、安心で安全なまちづくり
- 2 地域産業が元気で、生き生きと働けるまちづくり
- 3 人が行き交い、魅力と賑わいあふれるまちづくり

令和2年度の重点施策

3つの重要な基本方針に基づき、6つの基本目標ごとに掲げます。

基本目標①

いつまでも住み続けたい安全・安心なまち

防災・減災対策

- 既存の安全・防災メールの機能を充実させるとともに、携帯電話をお持ちでない方やメール受信ができない方で、主に避難行動要支援者の方を対象に登録制で電話、FAXで災害時に避難勧告等を発信することにより、災害時の情報発信の充実を図ります。
- 自主防災会、自治会、民生・児童委員、地域包括支援センターなどの関係機関と防災ワークショップなどを行い、地域防災について、より一層関係を強固なものにしていきます。

新庁舎

- 想定される大規模地震や激甚化する自然災害に備え、液状化対策、免震構造の採用、非常用発電機等の基幹設備を最上階に設置するなど、防災機能を充実させ、市民の皆様の安心・安全の確保に努めます。

防犯・交通安全対策

- 自治会への防犯カメラ設置補助を継続して実施するとともに、警察や地域の防犯パトロール活動と連携しながら、犯罪防止に取り組みます。
- 交通死亡事故の根絶を目指し、高齢者向けの交通安全教室や警察、交通安全推進協議会などとの連携のもと、効果的な交通安全対策に取り組みます。

環境衛生

- 新火葬場建設については、令和3年8月の供用開始を目標に工事を進めます。

基本目標②

笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち

子育て支援

- 「第2期弥富市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育所、地域子育て支援拠点事業、ファミリー・サポート・センター事業、児童クラブ事業など安心して子どもを育てられるよう子育て支援の充実に努めます。

高齢者支援

- 自動車運転免許証を自主返納し易い環境づくりを進める一方で、車が無くても困る地域の方々に65歳以上の高齢運転者を対象に、後付け踏み間違い急発進等抑制装置の購入・取付費用に対して一部補助をさせていただきます。

健康づくり

- 妊婦および母子への支援体制を充実することを目的に、本年7月1日から新庁舎3階の保健センター内に「子育て世代包括支援センター」を併設します。
- 集団検診の申込み方法について、従来の窓口・電話受付のほか、いつでも予約状況の確認・申込みができるよう、インターネットでの「ウェブ予約システム」を導入し、予約受付の利便性および若年層の受診率向上を図ります。

国民健康保険事業

- 専用の検査キットを活用することにより、気軽に健康チェックを行うことができる「スマホ de ドック」や様々な保健指導事業を実施するとともに、糖尿病性腎症重症化予防に取り組みます。

障がい者支援

- 長年建設要望のありました弥富福祉会の障がい者向けグループホーム「わじゅうのいえ（仮称）」も、令和2年3月末完成を目指し工事が進められており、障がいを持った方々が地域で自立した生活が送れるように引き続き支援してまいります。